

「ソフトクリームのコーンって、なんでこの形か知ってる？」

先月、外でソフトクリームを友人と食べていた時、「ソフトクリームのコーンって、なんでこの形か知ってる？」と聞かれました。「ソフトクリームを乗せやすいからやろ？」と答えると、「じゃあ、このもなかの他に、ワッフル生地や三角形もあるけど理由知ってる？」と聞かれました。ソフトクリームが溶ける前に食べ終わりがたかった私ですが、「確かになんでだろう…」と思い、彼のコーンに関する話を聞きました。ちなみに私はコーンよりカップ派です。



コーンが円錐の理由は？



以下、友人の説明です。

- ①「最後まで美味しく食べられるから」
→円柱だと底に溜まったアイスが食べづらい。円錐はアイスが溶けて下に溜まっても、先端に溜まるため、最後まで美味しく食べられる。
- ②「逆円錐は持ちやすい（握りやすい）から」
→上が広がっていることで、アイスクリームなどを乗せても安定する。
- ③「重ねることができるから」
→たくさんのコーンをまとめて重ねることができ、小さいスペースでも場所を取らない。

上に乗せるものによって、コーンの生地や形が違う！？

以下、友人の説明です。

- ①もなか→柔らかいソフトクリームを主に乗せる。ソフトクリームは溶けやすいため、乗せるところも広く作られている。
- ②ワッフル→すくったアイスクリームを主に乗せる。力を入れてアイスクリームを乗せるため、生地も少し固めである。
- ③三角形→ヘラを使って盛りつけるジェラートを主に乗せる。コーンの部分が丸い形より真っ直ぐの方が盛りつけしやすい。

「なんで？」から始まる学習

これからの季節によく見かけるソフトクリームのコーンですが、「当たり前」だと思っているものの中には、実はこうして「誰かの工夫」や「合理的な理由」が隠されています。

今、本校では「探究」にも力を入れています。「探究学習」と聞くと、壮大なテーマを決めて、それについて考えなければいけないと思っていませんか？しかし、「課されたからとりあえずやる」という「やらされ探究」になってしまうのはもったいないです。それは考える学びではなく、ただの「こなす作業」です。

「さっきの理科の実験、条件を少し変えたらどうなるんだろう？」

「技術の木工でいつも使うこの道具はなんでこの形なんだろう？」

「平泳ぎのタイムが速くならない。どうすれば速くなるんだろう？」



誰かに言われたからではなく、自分の心が動いた「小さな疑問」こそが本物の探究です。自分だけの「なんで？」を大切にしてみませんか？

また、探究で大切なことは、

「自分は何を不思議だと思ったのか」

「なぜそれを調べたいと思ったのか」



この2つを忘れないことです。探究学習は、将来研究者になる人のためだけのものではありません。学校のテストのほとんどは「正しい答え」がありますが、社会に出ると答えのない問題ばかりです。探究学習は、そんな「答えのない問題に出合ったとき、自分で考えて進む練習」であり、将来みんなの役に立つ大切な学びです。



もうすぐ夏休みが始まります。学校のチャイムに縛られず、自分の「なんで？」を気が済むまで追いかけられる最高のチャンスです。ネット上の答えを見て終わりにするのではなく、実際に試したり、観察したり、じっくり考えたりする「ワクワクする時間」を楽しんでみてください。